

## S-01 シンポジウム01

Jp

5月19日(水) 9:50~11:50

第03会場(国立京都国際会館 1F Annex Hall 2(別館))

## 多発性硬化症：再発によらない進行への理解を深める

座長：近藤 誉之 関西医科大学附属総合医療センター神経内科  
 河内 泉 新潟大学大学院医歯学総合研究科総合医学教育センター、新潟大学医歯学総合病院・脳研究所・脳神経内科学

S-01-1 臨床の場で二次性進行型をどう診断するか  
 越智 博文 愛媛大学大学院 脳神経内科・老年医学

S-01-2 多発性硬化症の炎症性グリア変性と神経変性～進行型の病態update  
 河内 泉 新潟大学 脳研究所 脳神経内科／新潟大学 大学院医歯学総合研究科 総合医学教育センター

S-01-3 進行型多発性硬化症の免疫病態  
 近藤 誉之 関西医科大学総合医療センター 神経内科

S-01-4 身体障害と高次脳機能障害の進行を抑制する現行治療戦略  
 中原 仁 慶應義塾大学医学部 神経内科

S-01-5 提言：二次進行型多発性硬化症の免疫病態と治療標的  
 山村 隆 国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部

## S-02 シンポジウム02

配信 En

5月19日(水) 9:50~11:50

第05会場(国立京都国際会館 2F Room B-1)

## Novel therapeutic approach for neurological disorders using stem cell biology and genetic modification

Chairs : Christopher E. Pearson  
 The Hospital for Sick Children  
 Yohei Okada  
 Aichi Medical University, Department of Neurology

S-02-1 A Slipped-CAG DNA-Ligand Induces Trinucleotide-Repeat Contractions In Vivo: Mechanism of Action  
 Christopher E. Pearson  
 The Hospital for Sick Children

S-02-2 Postnatal neurogenesis as a target of novel therapeutics for neurological disorders  
 Kazunobu Sawamoto  
 Department of Developmental and Regenerative Neurobiology, Institute of Brain Science, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Japan / Division of Neural Development and Regeneration, National Institute for Physiological Sciences, Japan

S-02-3 Pathophysiological analysis and therapeutic approach for motor neuron diseases using iPSCs  
 Yohei Okada  
 Aichi Medical University, Department of Neurology, Japan

- S-02-4 Drug discovery for neurodegenerative disorders using disease specific iPSCs  
Haruhisa Inoue  
Center for iPS Cell Research and Application, Kyoto University, Japan / RIKEN, Japan

## S-03 シンポジウム03

配信 En

5月19日(水) 9:50 ~ 11:50

第06会場(国立京都国際会館 2F Room B-2)

## Selective vulnerability of alpha-synuclein-related neurodegeneration -beyond proteinopathy and propagation-

Chairs : D. James Surmeier

Department of Physiology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University, IL

Toshiki Uchihara

Nitobe Memorial Nakano General Hospital, Neurology Clinic with Neuromorphomics Laboratory

- S-03-1 Hyperbranching axon as a structural template for Parkinson disease and aging

Toshiki Uchihara

Neurology Clinic with Neuromorphomics Laboratory, Nitobe-Memorial Nakano General Hospital, Japan /  
Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan

- S-03-2 How does alpha-synuclein pathology spread and cause neuronal dysfunction in the brain?

Dalton J. Surmeier

Department of Physiology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University, USA

- S-03-3 Lipid metabolism and alpha-synuclein aggregation

Taku Hatano

Department of Neurology, Juntendo University Faculty of Medicine, Japan

- S-03-4 Complex interplay between alpha-synuclein and selective autophagy

Ana Maria Cuervo

Institute for Aging Studies, Albert Einstein College of Medicine NY, USA

## S-04 シンポジウム04

Jp

5月19日(水) 9:50 ~ 11:50

第08会場(国立京都国際会館 1F Room E)

## 創薬を目指す認知症基盤研究の最前線

座長：鷺見 幸彦 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

鈴木 啓介 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター

- S-04-1 認知症トライアルレディコホート研究(J-TRC)

岩坪 威 東京大学大学院医学系研究科神経病理学

- S-04-2 創薬推進を目指したORANGEレジストリの取り組み  
～MCIレジストリを中心に～

鈴木 啓介 国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター

**S-04-3 認知症予防のための健常者レジストリIROOP**

松田 博史 一般財団法人脳神経疾患研究所南東北創薬・サイクロトロン研究センター／国立精神・神経医療研究センター

**S-04-4 認知症基盤研究に対する期待(製薬企業の立場から)**

畠山 直久 日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

**S-04-5 早期認知症患者の治験実施の促進について**

横井 優磨 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第三部

後援：日本認知症学会

**S-05 シンポジウム05****Jp**

5月19日(水) 9:50～11:50

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

**プリオン病の創薬と早期診断**

座長：高尾 昌樹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部  
岩崎 靖 愛知医科大学加齢医学研究所

**S-05-1 プリオン病治療薬開発の現状**

照屋 健太 東北大学大学院医学系研究科神経化学分野

**S-05-2 バイオマーカーを利用したプリオン病の早期診断と病態評価**

佐藤 克也 長崎大学病院 医療科学専攻保健科学分野

**S-05-3 緩徐進行型Creutzfeldt-Jakob病の診断と臨床経過**

三條 伸夫 東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野(脳神経内科)

**S-05-4 プリオン病の自然歴調査とその有効利用**

塚本 忠 国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科

**S-06 シンポジウム06****Jp**

5月19日(水) 9:50～11:50

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

**ジストニア発現の機序は何か？**

座長：長谷川一子 国立病院機構相模原病院臨床研究センター神経難病研究室  
浅沼光太郎 柳馬場武田クリニック

**S-06-1 ジストニアの起源～遺伝性ジストニアから～**

宮本 亮介 徳島大学 神経内科

**S-06-2 ジストニアの病態生理—小脳と大脳基底核の寄与について考察する**

知見 聡美 自然科学研究機構生理学研究所・生体システム研究部門

**S-06-3 手術療法からみたジストニアの起源**

岩室 宏一 順天堂大学医学部脳神経外科

**S-06-4 画像から読み解く局所性ジストニアの起源—音楽家のジストニアを中心に—**

花川 隆 京都大学医学研究科 脳統合イメージング分野

## S-07 シンポジウム07

配信 Jp

5月19日(水) 14:15 ~ 16:15

第01会場(国立京都国際会館 1F Main Hall)

## 本邦における神経疾患新規治療開発の最前線

座長：桑原 聡 千葉大学医学部脳神経内科  
松原 悦朗 大分大学医学部神経内科学講座

## S-07-1 NMO克服のための医師主導治験：RIN-1試験

田原 将行 宇多野病院 臨床研究部／宇多野病院 リハビリテーション科

## S-07-2 ギラン・バレー症候群・慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

三澤 園子 千葉大学病院 脳神経内科学

## S-07-3 最近の筋萎縮性側索硬化症治験

和泉 唯信 徳島大学病院 臨床神経科学分野(脳神経内科)

## S-07-4 アルツハイマー病

松原 悦朗 大分大学医学部医学科 神経内科学講座

## S-07-5 神経疾患治療薬開発の現況と展望-承認審査の立場から

佐久嶋 研 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

## S-08 シンポジウム08

配信 En

5月19日(水) 14:15 ~ 16:15

第05会場(国立京都国際会館 2F Room B-1)

## RBD as a harbinger of synucleinopathy: update

Chairs : Tomoyuki Miyamoto  
Department of neurology, Dokkyo Medical University Saitama Medical Center  
Keisuke Suzuki  
Department of Neurology, Dokkyo Medical University

## S-08-1 Melatonin Therapy in iRBD

Dieter Kunz  
Department of Physiology, Charite - Universitymedicine Berlin, Germany

## S-08-2 Characteristics of Japanese RBD patients and synucleinopathy risk

Masayuki Miyamoto  
Department of Clinical Medicine for Nursing, Dokkyo Medical University School of Nursing, Japan / Center of Sleep Medicine, Dokkyo Medical University Hospital, Japan

## S-08-3 Depression in RBD: needs for understanding biological aspects and psychological support

Yukiyoshi Sumi  
Shiga University of Medical Science Department of Psychiatry, Japan

## S-08-4 Novel animal model for prodromal Parkinson's disease

Hodaka Yamakado  
Department of Neurology, Kyoto University Hospital, Japan

S-08-5 RBD in Parkinson's disease  
Hiroaki Fujita  
Dokkyo Medical University, Japan

S-09 シンポジウム09

Jp

5月19日(水) 14:15 ~ 16:15

第07会場(国立京都国際会館 1F Room D)

新型コロナウイルス感染症とリハビリテーション医療

座長：加世田ゆみ子 広島市立リハビリテーション病院脳神経内科  
中馬 孝容 滋賀県立総合病院リハビリテーション科

S-09-1 医療介護ビッグデータからみたりハ医療の過去・現在・未来  
松田 晋哉 産業医科大学 公衆衛生学教室

S-09-2 神経難病リハビリテーションにおける医療と介護の連携  
中馬 孝容 滋賀県立総合病院 リハビリテーション科

S-09-3 オンラインリハビリテーション医療  
野崎 園子 わかくさ竜間リハビリテーション病院

S-09-4 新型コロナウイルス感染症とリハビリテーション医療  
藤谷 順子 国立国際医療研究センター病院リハビリテーション科

S-10 シンポジウム10

Jp

5月19日(水) 14:15 ~ 16:15

第08会場(国立京都国際会館 1F Room E)

筋疾患の治療開発を推進する基礎・臨床の両輪

座長：平澤 恵理 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科  
杉江 和馬 奈良県立医科大学脳神経内科学講座

S-10-1 筋レポジトリーと筋疾患研究  
西野 一三 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

S-10-2 福山型筋ジストロフィーの治療開発  
戸田 達史 東京大学大学院 医学系研究科 神経内科学

S-10-3 筋強直性ジストロフィーの治療開発—基礎研究から臨床試験へ  
中森 雅之 大阪大学 医学系研究科 神経内科学

S-10-4 筋疾患特異的iPS細胞を使った治療効果検証系の構築  
平澤 恵理 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科 / 順天堂大学大学院医学研究科

## S-11 シンポジウム11

Jp

5月19日(水) 14:15~16:15

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

## 脳小血管病の新展開

座長：富本 秀和 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学(脳神経内科)  
北園 孝成 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学

## S-11-1 脳小血管病オーバービュー

猪原 匡史 国立循環器病研究センター 脳神経内科

## S-11-2 大脳白質病変の臨床的意義

佐治 直樹 国立長寿医療研究センター ものわすれセンター

## S-11-3 高血圧性脳小血管病の病態と課題

三輪 佳織 国立循環器病研究センター 脳血管内科

## S-11-4 脳アミロイド血管症の病態update

新堂 晃大 三重大学病院 認知症医療学講座

## S-11-5 脳小血管病への抗血栓療法

齋藤 司 旭川医科大学病院 循環呼吸神経病態内科学分野

## S-11-6 「混合型」脳小血管病

薬師寺祐介 関西医科大学 神経内科学講座

## S-12 シンポジウム12

Jp

5月19日(水) 14:15~16:15

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

## 液-液相分離の新展開

座長：青木 正志 東北大学大学院医学系研究科神経内科学  
永井 義隆 大阪大学大学院医学研究科神経難病認知症探索治療学

## S-12-1 神経変性疾患における蛋白質凝集体形成のトリガーとしての液-液相分離(LLPS)と非膜性オルガネラ

永井 義隆 近畿大学医学部 脳神経内科/大阪大学大学院医学系研究科 神経難病認知症探索治療学

## S-12-2 天然変性領域の発現制御と破綻から捉えるALS病態

須貝 章弘 新潟大学脳研究所 分子神経疾患解析学分野

## S-12-3 low-complexityドメインの破綻がALS-FTDをきたす

森 英一朗 奈良県立医科大学 未来基礎医学

## S-12-4 ユビキチン鎖依存的なプロテアソームの液-液相分離

佐伯 泰 東京都医学総合研究所 基礎医学研究分野 蛋白質代謝プロジェクト

## S-12-5 アグリソーム形成と液-液相分離は独立してTDP-43凝集体の形成を引き起こす

渡邊 征爾 名古屋大学環境医学研究所 病態神経科学分野

**S-13 シンポジウム13****配信 En**

5月20日(木) 8:00 ~ 9:30

第04会場 (国立京都国際会館 2F Room A)

**Will new migraine medications save migraine patients?**

Chairs : Hisaka Igarashi

Headache Care Unit, Department of Internal Medicine, Fujitsu Clinic

Makio Takahashi

Department of Neurology, Osaka Red Cross Hospital

**S-13-1 The disability of migraine in Japan**

Toshihiko Shimizu

Department of Neurology, Keio University, Japan

**S-13-2 Will new migraine medications save migraine patients?**

Patricia Pozo-Rosich

Headache Unit &amp; Research Group, Vall Hebron University Hospital &amp; Vall Hebron Institute of Research (VHIR), Spain

**S-13-3 Will new medications for acute treatment of migraine exceed triptans?**

Yoshiko Unno

Department of Stroke and Cerebrovascular Medicine, Faculty of Medicine, Kyorin University, Japan

**S-13-4 How should we choose the treatment of migraine?**

Noboru Imai

Department of Neurology, Japanese Red Cross Shizuoka Hospital, Japan

後援：日本頭痛学会

**S-14 シンポジウム14****公募 配信 Jp**

5月20日(木) 8:00 ~ 9:30

第06会場 (国立京都国際会館 2F Room B-2)

**本態性振戦の臨床**

座長：上利 崇 東京都立神経病院 脳神経外科

古和 久典 国立病院機構松江医療センター脳神経内科

**S-14-1 本態性振戦 -Overview-**

山脇 健盛 広島通信病院 内科

**S-14-2 本態性振戦の病態と診断**

花島 律子 鳥取大学病院 脳神経内科学分野

**S-14-3 本態性振戦の薬物療法**

古和 久典 松江医療センター 脳神経内科

**S-14-4 本態性振戦に対する外科的治療の現状と今後の展望**

上利 崇 東京都立神経病院 脳神経外科

**S-14-5 本態性振戦に対するMRガイド下集束超音波治療**

金藤 公人 社会医療法人北斗 北斗病院 脳神経内科

後援：日本定位・機能神経外科学会

## S-15 シンポジウム15

Jp

5月20日(木) 8:00～9:30

第07会場(国立京都国際会館 1F Room D)

### 見逃し厳禁！アミロイドーシスの早期診断と治療法の進歩

座長：関島 良樹 信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科  
植田 光晴 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科学

#### S-15-1 高齢者の手根管症候群に潜むATTRアミロイドーシスの早期診断

関島 良樹 信州大学病院 脳神経内科，リウマチ・膠原病内科

#### S-15-2 心アミロイドーシスの早期診断と最新治療

遠藤 仁 慶應義塾大学医学部 循環器内科

#### S-15-3 ATTRアミロイドーシスに対する治療の進歩と課題

三隅 洋平 熊本大学病院 脳神経内科

#### S-15-4 ALアミロイドーシスの早期診断と最新治療

島崎 千尋 独立行政法人地域医療機能推進機構京都鞍馬口医療センター血液内科

## S-16 シンポジウム16

Jp

5月20日(木) 8:00～9:30

第08会場(国立京都国際会館 1F Room E)

### 神経核内封入体病と類縁疾患 update

座長：吉田 眞理 愛知医科大学加齢医科学研究所  
曾根 淳 国立病院機構鈴鹿病院脳神経内科

#### S-16-1 NIIDのNOTCH2NL1 GGCリピート延長と臨床病理像

曾根 淳 鈴鹿病院 脳神経内科／愛知医科大学 加齢医科学研究所

#### S-16-2 リピート伸長変異が拓く新たな神経学

石浦 浩之 東京大学 神経内科学

#### S-16-3 脆弱X関連振戦/失調症候群(FXTAS)の臨床病態

石井 一弘 筑波大学 医学医療系 神経内科学

#### S-16-4 遺伝学的診断が確定した眼咽頭遠位型ミオパチーの臨床病理学的特徴

小笠原真志 国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第一部／国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター

## S-17 シンポジウム17

公募 Jp

5月20日(木) 8:00～9:30

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

### 脳神経内科における音楽療法の使命

座長：岩田 誠 メディカルクリニック柿の木坂  
中村 道三 愛仁会尼崎だいもつ病院脳神経内科

#### S-17-1 認知症に対する音楽療法の科学的アプローチ

佐藤 正之 東京都立産業技術大学院大学 認知症・神経心理学講座

20  
日

シン  
ポジ  
ウム

S-17-2 パーキンソン病に対する音楽療法  
林 明人 順天堂大学医学部附属浦安病院 リハビリテーション科・脳神経内科

S-17-3 高齢者の音楽療法 ―現状と展望―  
藤本 禮子 日本音楽療法学会 理事

S-17-4 認知機能低下を伴うパーキンソン病に対するオンライン音楽療法の試み  
指定発言 樽野 陽亮 京都大学大学院 脳病態生理学講座 臨床神経学

S-17-5 The Mission of Music Therapy in Neurology  
Anthony Meadows Shenandoah University

後援：日本音楽療法学会 / 日本神経治療学会

## S-18 シンポジウム18

Jp

5月20日(木) 8:00～9:30

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

### 集中治療後に発症する神経症候：Post Intensive Care Syndrome (PICS) とICU-acquired weakness (ICUAW)

座長：横田 裕行 日本体育大学大学院保健医療学研究科  
園生 雅弘 帝京大学附属病院神経内科

S-18-1 ICUAW - 病態と発症機序 -  
今井 富裕 国立病院機構箱根病院

S-18-2 ICUAWの診断と予後  
畑中 裕己 帝京大学病院 脳神経内科

S-18-3 PICSとは何か  
井上 茂亮 神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野 先進救命救急医学部門

S-18-4 PICS/ICU-AWの臨床研究の最前線 現状と課題  
中村 謙介 日立総合病院 救急集中治療科

後援：日本神経救急学会

## S-19 シンポジウム19

公募 Jp

5月20日(木) 8:00～9:30

第11会場(国立京都国際会館 1F Room 157)

### 未来志向の働き方改革：10年後の脳神経内科診療に向けての5人の女性医師からの提言

座長：木下 彩栄 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻  
鈴木 匡子 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学

S-19-0 シンポジウム企画の意図と演者紹介  
木下 彩栄 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

S-19-1 若手女性研修医と考える、これからの働き方  
川竹 絢子 京都大学医学部附属病院

**S-19-2** ”楽しく働き続ける”ために必要なこと

関口 縁 JR東京総合病院 脳神経内科

**S-19-3** 「断らない救急日本一?!」病院の働き方改革

川本 未知 神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科

**S-19-4** 女性医師のキャリアアップのために

木戸 道子 日本赤十字社医療センター 産婦人科

**S-20 シンポジウム20**

配信 En

5月20日(木) 16:15 ~ 18:15

第01会場 (国立京都国際会館 1F Main Hall)

**Cutting-edge advances in NMOSD and MOG-related disorders**

Chairs : Jin Nakahara

Department of Neurology, Keio University School of Medicine

Chihiro Fujii

Department of Neurology, University Hospital Kyoto Prefectural University of Medicine

**S-20-1** Molecular pathology of AQP4-NMOSD

Masato Yasui

Department of Pharmacology, Keio University School of medicine, Japan

**S-20-2** Epidemiology of neuromyelitis optica spectrum disorder

Noriko Isobe

Department of Neurology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Japan

**S-20-3** Treatment of AQP4-IgG-positive NMOSD

Kazuo Fujihara

Department of Multiple Sclerosis Therapeutics, Fukushima Medical University School of Medicine, Japan /  
Multiple Sclerosis & Neuromyelitis Optica Center, Southern TOHOKU Research Institute for Neuroscience,  
Japan**S-20-4** Pathology of MOG-RD

Yoshiki Takai

Department of Neurology, Tohoku University School of Medicine, Japan

**S-20-5** Treatment strategy for MOGAD

Sung Min Kim

Department of Neurology, Seoul National University Hospital, Korea

**S-21 シンポジウム21****配信 En**

5月20日(木) 16:15 ~ 18:15

第07会場(国立京都国際会館 1F Room D)

**Novel molecular target drugs for MG: How should we use them?**

Chairs : Hiroyuki Murai

International University of Health and Welfare

Shigeaki Suzuki

Department of Neurology, Keio University School of Medicine

**S-21-1 Treatment of Myasthenia Gravis using complement inhibitors**

Angela Genge

McGill University, Canada / Montreal Neurological Institute and Hospital, Canada

**S-21-2 Treatment for MG using FcRn inhibitor**

Akiyuki Uzawa

Graduate School of Medicine, Chiba University, Japan

**S-21-3 Treatment for myasthenia gravis using B-cell antibodies**

Shingo Konno

Department of Neurology, Toho University Faculty of Medicine, Japan

**S-21-4 Novel molecular target drugs for MG: How should we use them?**

Jason L. Crowell

Neurologist, Beth Israel Deaconess Medical Center / Jerome H. Grossman M.D. Graduate Fellow, Harvard Kennedy School

**S-22 シンポジウム22****公募 Jp**

5月20日(木) 16:15 ~ 18:15

第08会場(国立京都国際会館 1F Room E)

**「基礎～臨床、学会横断シンポジウム」基礎の学会では今何が熱いか？**

座長：下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科

勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学

**S-22-1 基礎研究で今熱いトピックス 日本神経学会将来構想委員会から**

勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

**S-22-2 今からでも遅くない！—基礎神経科学研究のすゝめ**

柚崎 通介 慶應義塾大学医学部生理学

**S-22-3 基礎研究の魅力 日本神経化学会理事長から**

小泉 修一 山梨大学 院医 薬理 / 山梨大学 GLIAセンター

**S-22-4 若手の神経学会員の皆様へのメッセージ：神経病理学会から**

柿田 明美 新潟大学脳研究所病理学分野

後援：日本神経科学会 / 日本神経化学会 / 日本神経病理学会

## S-23 シンポジウム23

Jp

5月20日(木) 16:15～18:15

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

### 新時代の脳卒中診療における脳神経内科医の役割

座長：長谷川泰弘 新百合ヶ丘総合病院脳卒中センター  
豊田 一則 国立研究開発法人国立循環器病研究センター

#### S-23-1 日本の脳卒中医療システムの近未来像、Neurologistに求められるもの

橋本洋一郎 熊本市民病院 脳神経内科

#### S-23-2 Stroke Care Unit/Stroke Unitにおける脳神経内科医の役割

古賀 政利 国立循環器病研究センター 脳血管内科

#### S-23-3 院内発症脳卒中とin-hospital stroke action team(iSAT)の形成

指定発言 伊佐早健司 聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科

#### S-23-4 脳神経内科医が果たすべきこれからの脳卒中診療

緒方 利安 福岡大学病院 脳神経内科

#### S-23-5 脳神経血管内治療における脳神経内科医の役割

早川 幹人 筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座

#### S-23-6 離島における脳卒中遠隔医療システム(telestroke)

辻野 彰 長崎大学病院 脳神経内科

後援：日本脳卒中学会 / 日本脳卒中協会

## S-24 シンポジウム24

Jp

5月20日(木) 16:15～18:15

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

### 筋萎縮性側索硬化症における多系統変性と関連する臨床の諸問題

座長：和泉 唯信 徳島大学大学院臨床神経科学分野(脳神経内科)  
清水 俊夫 東京都立神経病院脳神経内科

#### S-24-1 ALSにおける中枢感覚機能の神経生理学的評価

清水 俊夫 都立神経病院 脳神経内科

#### S-24-2 神経病理からみた筋萎縮性側索硬化症における多系統変性

松原 知康 東京都健康長寿医療センター 高齢者バイオリソースセンター

#### S-24-3 気管切開人工呼吸療養下ALS患者における非運動症状・合併症の検討

中山 優季 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター難病ケア看護ユニット

#### S-24-4 ALSにおける心血管系および自律神経系異常

藤田 浩司 徳島大学 脳神経内科

#### S-24-5 完全閉じ込め状態の患者に対するブレイン-マシン・インターフェイス

小金丸聡子 獨協医科大学 生理学講座

20  
日

シン  
ポジ  
ウム

## S-25 シンポジウム25

Jp

5月20日(木) 16:15～18:15

第11会場(国立京都国際会館 1F Room 157)

### 次世代型難病医療体制に向けて脳神経内科医にできること

座長：宮地 隆史 国立病院機構 柳井医療センター  
駒井 清暢 国立病院機構医王病院北陸脳神経筋疾患センター脳神経内科

S-25-1 神経難病への医療提供体制：神奈川県を例に  
小森 哲夫 国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター

S-25-2 難病診療連携拠点病院の立場から(大都市)  
坂口 学 大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科／大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 大阪難病医療情報センター

S-25-3 難病医療連携拠点病院の立場から(広島県の取り組み)  
丸山 博文 広島大学大学院 脳神経内科

S-25-4 難病診療連携コーディネーターの立場から  
野正 佳余 大阪難病医療情報センター

S-25-5 未診断疾患イニシアチブの成果と難病医療への貢献  
高橋 祐二 国立精神・神経医療研究センター 病院 脳神経内科

S-25-6 国の難病対策の動向  
谷口 倫子 厚生労働省 健康局 難病対策課

## S-26 シンポジウム26

Jp

5月21日(金) 8:00～9:30

第02会場(国立京都国際会館 1F Annex Hall 1(別館))

### 脳炎・髄膜炎克服に向けた診療アルゴリズムの構築：神経感染症と自己免疫性脳炎のワロストーク

座長：濱野 忠則 福井大学医学部脳神経内科  
森田 昭彦 日本大学医学部内科学系神経内科学分野

S-26-1 脳炎・髄膜炎の診療アルゴリズム構築に向けて：オーバービュー  
中嶋 秀人 日本大学医学部内科学系神経内科学分野

S-26-2 マルチプレックスPCRによる神経感染症の臨床診断の実用化  
吉良龍太郎 福岡市立こども病院 小児神経科

S-26-3 自己免疫性脳炎における診断アルゴリズムと臨床スペクトラムの多様性  
飯塚 高浩 北里大学医学部・脳神経内科学

S-26-4 単純ヘルペス脳炎後の自己免疫性脳炎から考察する診療アルゴリズム  
原 誠 日本大学医学部 内科学系 神経内科学分野

20日

21日

シンポジウム

**Neurologic Specialty Board in the World**

Chairs : Susumu Kusunoki  
 Japan Community Health care Organization (JCHO)  
 Makoto Kawai  
 Stanford University

**S-27-1 Specialization in Neurology in Germany**

Heinz Reichmann  
 University of Dresden, Germany

**S-27-2 Neurology Specialty Board in Korea**

Jee-Young Lee  
 Seoul National University College of Medicine and Seoul National University Boramae Hospital, Korea

**S-27-3 Neurology Board in the US and Japan**

Yohei Harada  
 Duke University School of Medicine, Japan

**S-27-4 Neurological specialty board in the world and the historical background of the situation in Japan**

指定発言

Masahiro Sonoo  
 Department of Neurology, Teikyo University School of Medicine, Japan

**Novel therapeutic strategies against ischemic stroke from the perspective of neuro-glial-vascular unit**

Chairs : Takakuni Maki  
 Kyoto University Graduate School of Medicine  
 Masato Kanazawa  
 Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University

**S-28-1 Endothelial progenitor cells secretome in neuro-oligo-vascular remodeling after ischemic stroke**

Anna Rosell  
 Neurovascular Research Laboratory, Institut de Recerca, Hospital Vall d'Hebron, Barcelona, Spain

**S-28-2 Microglia, monocyte, and PBMCs polarization reveal therapeutic mechanisms against ischemic stroke**

Masato Kanazawa  
 Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Japan

**S-28-3 The Effects of TrkB agonist for changing A1 to A2 astrocyte under prolonged cerebral hypoperfusion**

一般演題から採用

Nobukazu Miyamoto  
 Department of Neurology, Juntendo University school of medicine, Japan

S-28-4 Brain pericytes serve as multipotent stem cells following ischemic stroke  
Mikiya Beppu  
Hyogo College of Medicine, Department of Neurosurgery, Japan

S-28-5 The phenotype changes of oligodendrocyte precursor cells after ischemic stroke  
Takakuni Maki  
Kyoto University Graduate School of Medicine, Japan

## S-29 シンポジウム29

公募 Jp

5月21日(金) 8:00 ~ 9:30

第07会場(国立京都国際会館 1F Room D)

### てんかん病態解明の学際的アプローチ：グリアとニューロンの理論と実データ

座長：池田 昭夫 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座  
杉浦 嘉泰 国立病院機構福島病院 脳神経内科

S-29-1 てんかん発作時の脳波変化から見えるグリアとニューロンの関与：  
DC電位の2タイプと病理相関  
梶川 駿介 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

S-29-2 てんかん病態におけるグリアとニューロンの基礎的アプローチ  
中谷 光良 Aix-Marseille University, Institut de Neurosciences des Systèmes / 順天堂大学 脳神経内科

S-29-3 発作時高周波振動の数理モデル  
行木 孝夫 北海道大学大学院理学研究院数学部門

S-29-4 神経病理からのてんかん病態へのアプローチ  
北浦 弘樹 新潟大学脳研究所病理学分野

後援：日本てんかん学会

## S-30 シンポジウム30

Jp

5月21日(金) 8:00 ~ 9:30

第08会場(国立京都国際会館 1F Room E)

### 最新の神経生理手法による神経疾患解析を考える

座長：花島 律子 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野  
野寺 裕之 天理よろづ相談所病院 脳神経内科

S-30-1 手根管症候群の新しい基準を考える  
宮地 洋輔 横浜市立大学 大学院医学研究科 脳神経内科・脳卒中科 / 帝京大学 医学部 脳神経内科

S-30-2 筋超音波検査と針筋電図によるfasciculation検出を考える  
—ALSを中心として—  
木田 耕太 都立神経病院 脳神経内科

S-30-3 ALSのthreshold hunting法の応用を考える  
代田悠一郎 東京大学医学部附属病院 検査部

S-30-4 大脳神経可塑性の神経疾患での意味を考える  
清水 崇宏 鳥取大学医学部脳神経内科

## S-31 シンポジウム31

公募 Jp

5月21日(金) 8:00～9:30

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

### ESUSへの探求～塞栓源検索と治療の新たな展開～

座長：秋山 久尚 聖マリアンナ医科大学内科学(脳神経内科)  
藤本 茂 自治医科大学神経内科

S-31-1 ESUSの概念の変遷：過去、現在、未来

須田 智 日本医科大学病院 脳神経内科

S-31-2 ESUSに潜む心房細動に対する検出と治療デバイス  
～Duranta、Reveal LINQ、WATCHMAN～

秋山 久尚 聖マリアンナ医科大学 内科学(脳神経内科)

S-31-3 ESUSの原因～卵円孔開存の位置づけ～

河野 浩之 杏林大学医学部 脳卒中医学

S-31-4 卵円孔開存に対する治療デバイスとその効果 ～AMPLATZER～

田邊 康宏 聖マリアンナ医科大学内科学(循環器内科)

S-31-5 ESUSにおける大動脈粥種腫の臨床的意義 ～その実態と治療法は?～

上野 祐司 順天堂大学医学部附属順天堂医院

S-31-6 ESUSとStroke Oncology(悪性から良性まで)

田中 亮太 自治医科大学 附属病院脳卒中センター・内科学講座神経内科学部門

## S-32 シンポジウム32

Jp

5月21日(金) 8:00～9:30

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

### 高次脳機能障害のトピックスと最新アプローチ

座長：美馬 達哉 立命館大学先端総合学研究科  
植木 美乃 名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野

S-32-1 高次脳機能障害を“見える化”する試み

鈴木 匡子 東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学

S-32-2 注意障害・視空間認知障害のトピックス

水野 勝広 国立精神・神経医療研究センター 病院 身体リハビリテーション部

S-32-3 fNIRSを用いたニューロフィードバック～歩行バランス障害への応用～

三原 雅史 川崎医科大学 神経内科学

S-32-4 神経生理学的基盤に基づいた体内埋込型ブレインマシンインターフェースによる機能再建

平田 雅之 大阪大学大学院医学系研究科 脳機能診断再建学共同研究講座

21  
日

シン  
ポジ  
ウム

**S-33 シンポジウム33****配信 Jp**

5月21日(金) 14:40～16:10

第01会場(国立京都国際会館 1F Main Hall)

**世界のトップサイエンティストの男女共同参画**

座長：武田 篤 国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科  
清水 優子 東京女子医科大学脳神経内科

**S-33-1 Women Faculty Networking—ダイバーシティリーダーの育成—**

柳沢 裕美 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター

**S-33-2 医師・宇宙飛行士として—パラレル・キャリアの実践—**

向井 千秋 東京理科大学特任副学長 兼 スペース・コロニー研究センター長

**S-34 シンポジウム34****配信 En**

5月21日(金) 14:40～16:40

第06会場(国立京都国際会館 2F Room B-2)

**Increasing importance of autonomic neuroscience in multiple system atrophy**

Chairs : Masato Asahina  
Neurology Clinic Tsudanuma  
Tetsutaro Ozawa  
Department of Neurology, Uonuma Institute of Community Medicine, Niigata University

**S-34-1 Updates on uro-neurology in MSA**

Ryuji Sakakibara  
Neurology, Internal Medicine, Sakura Medical Center, Toho University, Japan

**S-34-2 Challenges in the diagnosis of non-motor MSA**

Yasuaki Mizutani  
Department of Neurology, Fujita Health University School of Medicine, Japan

**S-34-3 Real-world data of autonomic dysfunction in Hokkaido Rare disease Consortium for MSA(HoRC-MSA) study**

Masaaki Matsushima  
Department of Neurology, Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Japan

**S-34-4 The close and dangerous relationship between sleep and autonomic disorders in MSA: new insight**

Pietro Cortelli  
DIBINEM, University of Bologna; IRCCS ISNB, Italy

## Disassemble "CIDP"! Reclassification of "CIDP" based on molecular autoimmune mechanism

Chairs : Haruki Koike

Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine

Ryo Yamasaki

Department of Neurology, Neurological Institute, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

## S-35-1 CIDP pathophysiology: a roadmap for future research

Luis Querol

Hospital de la Santa Creu i Sant Pau, Barcelona, Spain / Centro para la Investigacion en Red en Enfermedades Raras - CIBERER, Spain

## S-35-2 Reassemble polyneuropathy according to the ultrastructural characteristics

Haruki Koike

Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Japan

## S-35-3 Autoantibody in autoimmune polyneuropathy - update -

Motoi Kuwahara

Department of Neurology, Kindai University, Faculty of Medicine, Japan

## S-35-4 Molecular mechanisms and clinical characteristics in anti-NF155 antibody-positive CIDP

Hidenori Ogata

Department of Neurology, Kyushu University Hospital, Japan

## 国際化 一 日本神経学会はどこを目指すのか? (国際対応委員会企画プログラム)

座長: 西野 一三 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部

磯部 紀子 九州大学大学院医学研究院神経内科学

## S-36-0 本シンポジウム開催の主旨

西野 一三 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

## S-36-1 神経学会の英語化と国際化について—オーストラリア留学の経験から

東原 真奈 東京都健康長寿医療センター 脳神経内科・脳卒中科

## S-36-2 英語化は必要か? 一臨床医の立場から

藤 陽子 東京都立神経病院 脳神経内科

## S-36-3 モンゴル国における筋電図, 電気診断指導経験

國分 則人 獨協医科大学病院 脳神経内科

## S-36-4 本神経学会は何を目指すべきなのか—米国脳神経内科医師からの提言

木佐貫 泰 オハイオ州立大学脳神経内科

## S-37 シンポジウム37

Jp

5月21日(金) 14:40～16:40

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

### 臨床への還元のための病理確定診断の重要性

座長：柿田 明美 新潟大学脳研究所  
齊藤 祐子 東京都健康長寿医療センター 神経病理

#### S-37-1 進行性核上性麻痺(PSP)と大脳皮質基底核変性症(CBD)

吉田 眞理 愛知医科大学 加齢医科学研究所

#### S-37-2 運動ニューロン疾患

清水 宏 新潟大学脳研究所 病理学分野

#### S-37-3 認知症の病理診断が教えてくれること

足立 正 鳥取大学医学部脳神経医科学講座神経病理学／鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学

#### S-37-4 パーキンソン病

齊藤 祐子 東京都健康長寿医療センター 神経病理

## S-38 シンポジウム38

公募 Jp

5月21日(金) 14:40～16:40

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

### 複雑系、AI、ビッグデータは、神経変性疾患の病態解明におけるmissing linkを解き明かすことができるのか？

座長：金谷 泰宏 東海大学医学部 臨床薬理学  
渡辺 宏久 藤田医科大学医学部脳神経内科学

#### S-38-1 ムーンショット型研究開発： 疾患の予測・予防を目指す革新的イノベーション創出

祖父江 元 愛知医科大学

#### S-38-2 拘束条件付き自己組織化理論に基づく機能分化に関する数理的・情報論的基盤

津田 一郎 中部大学創発学術院

#### S-38-3 脳のロバスト性を考慮した神経変性疾患の早期診断

小野寺 理 新潟大学脳研究所 神経内科

#### S-38-4 神経変性疾患におけるAI・ビッグデータ研究の現状と課題

渡辺 宏久 藤田医科大学病院 脳神経内科

#### S-38-5 臨床調査個人票の活用について

金谷 泰宏 東海大学医学部 臨床薬理学

**S-39 シンポジウム39****公募 Jp**

5月21日(金) 14:40 ~ 16:40

第11会場(国立京都国際会館 1F Room 157)

**脳神経内科医が関わる災害医療の過去・現在・未来  
=東日本大震災から10年、新型コロナウイルス感染症の中で=**座長：伊東 秀文 和歌山県立医科大学脳神経内科  
稲富雄一郎 済生会熊本病院脳神経内科**S-39-1 Overview: 複合災害に備えて**

溝口 功一 静岡医療センター 脳神経内科

**S-39-2 東日本大震災の記憶と今**

関 晴朗 国立病院機構いわき病院 脳神経内科

**S-39-3 地震災害と神経救急疾患：熊本地震の経験から**

稲富雄一郎 済生会熊本病院 脳神経内科

**S-39-4 熊本地震における神経難病患者の状況**

栗崎 玲一 熊本再春医療センター 脳神経内科

**S-39-5 房総半島南部における台風15号による医療への影響と課題**

中嶋 秀樹 安房地域医療センター 脳神経内科 / 牛久愛和総合病院 脳神経内科

**S-39-6 災害医療をサポートする多様なチームへの新型コロナウイルス感染防止教育**

山村 修 福井大学病院 脳神経内科

**S-39-7 脳神経内科医が取り組むべき災害対策の「これまで」と「これから」**

中根 俊成 熊本大学病院 分子神経治療学寄附講座(脳神経内科)

**S-40 シンポジウム40****公募 配信 En**

5月22日(土) 8:00 ~ 10:00

第04会場(国立京都国際会館 2F Room A)

**Dyskinesia in Parkinson's Disease: Filling the Bedside-to-Bench Gap**

Chairs : Masahiko Tomiyama

Department of Neurology, Hirosaki University Graduate School of Medicine

Hodaka Yamakado

Kyoto University Hospital

**S-40-1 Update on the Clinical Phenomenology, Risk Factors and Burden of Dyskinesias**

Atsushi Takeda

Department of Neurology, National Hospital Organization Sendai-Nishitaga Hospital, Japan / Department of motor and cognitive aging, Tohoku university graduate school of medicine, Japan

**S-40-2 External and internal loops of the basal ganglia (BG)**

Yoshikazu Ugawa

Department of Human Neurophysiology, Japan

**S-40-3 Morphological and Functional Changes of Striatal Neurons in Dyskinesia**

Haruo Nishijima

Department of Neurology, Hirosaki University Hospital, Japan

21日

22日

シンポジウム

S-40-4 Future medical treatments for dyskinesias: from bench to bedside

M. Angela Cenci

Lund University, Dept. Experimental Medical Science, Basal Ganglia Pathophysiology, Lund (Sweden), Sweden / Wallenberg Neuroscience Centre, Sweden

S-41 シンポジウム41

Jp

5月22日(土) 8:00 ~ 10:00

第07会場(国立京都国際会館 1F Room D)

認知症の診断とバイオマーカーの最前線

座長: 石井 賢二 東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム  
浜口 毅 金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学

S-41-1 アルツハイマー病神経画像診断の最前線

石井 賢二 東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム

S-41-2 Alzheimer病の脳脊髄液・血液バイオマーカー

池内 健 新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター

S-41-3 Prodromal Lewy小体型認知症の臨床診断基準におけるバイオマーカー

藤城 弘樹 かわさき記念病院

S-41-4 プリオン病非典型例の診断とバイオマーカー

浜口 毅 金沢大学大学院脳老化・神経病態学(脳神経内科学)

S-42 シンポジウム42

公募 Jp

5月22日(土) 8:00 ~ 10:00

第08会場(国立京都国際会館 1F Room E)

開業でも大活躍、成功する脳神経内科のキャリアパス

座長: 西山 和利 北里大学医学部脳神経内科学  
丹羽 潔 医療法人社団英麗会東京頭痛クリニック

S-42-1 臨床医部会設置準備委員会からの活動報告

西山 和利 北里大学病院 脳神経内科

S-42-2 頭痛診療に特化して大都市医療圏に挑んでみたら・・・

丹羽 潔 東京頭痛クリニック 脳神経内科

S-42-3 認知症診療に特化した脳神経内科を開業してみました

井門ゆかり 井門ゆかり脳神経内科クリニック

S-42-4 開業医院過密地域のサテライトクリニックを脳神経内科医が引き受けてみました

浅沼光太郎 柳馬場武田クリニック

S-42-5 民間医療機関における脳神経内科医としての診療:

医療-福祉連携を推進する

西田 善彦 伊月病院 神経内科

**S-43 シンポジウム43****Jp**

5月22日(土) 8:00～10:00

第09会場(国立京都国際会館 1F さくら)

**新型コロナウイルス感染症COVID-19：脳神経内科医の課題と対策**

座長：三條 伸夫 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野(神経内科)  
 中嶋 秀人 日本大学医学部内科学系神経内科学分野

**S-43-1** COVID-19にみられる神経症候  
 (意識障害等の神経症候を呈する患者への救急外来対応マニュアルを含む)  
 高尾 昌樹 国立精神・神経医療研究センター 臨床検査部

**S-43-2** COVID-19における免疫反応  
 今井 耕輔 東京医科歯科大学 茨城県小児・周産期地域医療学

**S-43-3** ACE2受容体と脳炎・脳症(嗅覚障害を含む)  
 下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野

**S-43-4** COVID-19 神経合併症：脳血管障害  
 和田 邦泰 熊本市民病院 脳神経内科

**S-43-5** COVID-19対応自己免疫性神経疾患患者ケア  
 宮崎 雄生 国立病院機構北海道医療センター 脳神経内科

**S-43-6** COVID-19パンデミックにおける神経筋疾患患者の感染対策とその影響  
 松村 剛 大阪刀根山医療センター 脳神経内科

**S-44 シンポジウム44****Jp**

5月22日(土) 8:00～10:00

第10会場(国立京都国際会館 1F スワン)

**孤発性・家族性神経疾患のゲノム研究**

座長：高嶋 博 鹿児島大学病院脳神経内科  
 佐竹 渉 東京大学大学院医学系研究科神経内科

**S-44-1** 希少疾患・ミオパチーなどのゲノム研究  
 宮武 聡子 横浜市立大学病院 遺伝子診療科

**S-44-2** パーキンソン病のゲノム解析と創薬・ファーマコゲノミクス  
 佐竹 渉 東京大学大学院医学系研究科 神経内科

**S-44-3** ALSのゲノム研究  
 熱田 直樹 愛知医科大学 神経内科/名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

**S-44-4** 認知症のゲノム研究のための基盤整備  
 新飯田俊平 国立長寿医療研究センター

**S-44-5** long read sequencing の現状と応用  
 森下 真一 東京大学新領域創成科学研究科

22  
日シン  
ポ  
ジ  
ウ  
ム

## 脳とスポーツ ～身体活動における神経学の新たな役割～

座長：三原 雅史 川崎医科大学脳神経内科

辻本 昌史 国立長寿医療研究センター治験・臨床研究推進センター治験・臨床研究推進部 臨床研究企画室

## S-45-1 スポーツ医学における神経学の役割

辻本 昌史 国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター

## S-45-2 外的刺激がもたらす神経可塑性

眞野 智生 奈良県立医科大学病院 脳神経内科／奈良県立医科大学病院 リハビリテーション科

## S-45-3 職業性ジストニアとイップス

服部 憲明 富山大学学術研究部医学系リハビリテーション科

## S-45-4 スポーツ選手における感覚刺激で競技能力向上を考える

糸井 統 岐阜県立岐阜商業高等学校

## S-45-5 学校教育現場における感覚を活用した事例報告

吉田 貴広 紋別南丘小学校学習環境アドバイザー／一般社団法人日本味感学協会 理事／中央大学保健体育研究所客員研究員／中央大学水泳部コーチ